会議の構成と進め方について

1. 背景

- ・「石川県長期構想(H28)」策定以後、社会のデジタル化やカーボンニュートラルの推進、新型コロナウイルス感染症など、 本県を取り巻く環境が大きく変化
- ・こうした社会情勢の変化を踏まえ、今後10年間程度の県政の方向性を指し示す新たな総合計画として 「石川県成長戦略(仮称)」を策定
- ・策定にあたり、県内外の各界の代表者からなる「石川県成長戦略会議」を設置

2. 会議の構成

石川県成長戦略会議 [24名]

各部会での議論等を踏まえ、 大局的に議論

※第1回開催(令和4年9月5日)

部会 [75名]

5つの部会を設置し、詳細な議論

(視点1)石川県の強みをさらに伸ばす

- ○強い産業づくり部会=産業振興指針検討委員会 [27名]
- 〇持続可能な社会・成長する農林 水産業づくり部会
- 〇個性豊かな地域づくり部会 [16名]

[9名]

(視点2)県民が健やかに安心して暮らせる未来を育む

- ○温もりのある社会・人づくり部会 [14名]
- 〇安全・安心な地域づくり部会 [9名]

3. 今後の進め方

- ・今後、石川県成長戦略会議及び5つの部会をそれぞれ2~3回程度開催し、今年度中に骨子案、来年度前半に素案、最終案を議論(産業振興指針検討委員会は、成長戦略会議の開催前までに、都度、検討委員会を開催)
- ・令和5年の9月議会に、条例※に基づき「石川県成長戦略(仮称)」を上程

会議の構成と進め方について②

石川県成長戦略会議

【24名】

強い産業づくり部会(=石川県産業振興指針検討委員会)[27名]

(下線)成長戦略会議を兼任

氏 名	役職名	氏名	役職名
安宅 建樹	石川県商工会議所連合会 会頭	丹康雄	北 陸先端科学技術大学院大学 副学長
岩本 秀成	ダイワ通信㈱ 代表取締役社長	杖村 修司	石川県銀行協会 会長
打本 渉	(株)月星製作所 代表取締役社長	中村 健一	石川県鉄工機電協会 会長
遠藤 幸四郎	石川県繊維協会 会長	成田 由里	(納ウーマンスタイル 代表取締役
蚊谷 八郎	石川県伝統産業振興協議会 会長	長谷川孝徳	地域文化総合研究所 代表
北野 ゆかり	石川県商工会女性部連合会 会長	平本 督太郎	金沢工業大学 SDGs推進センター所長
高 由紀	ウィルフラップ(株) 取締役会長	福田 佳央	日本労働組合総連合会 石川県連合会会長
小清水 良次	石川県情報システム工業会 会長	細野 昭雄	(㈱アイ・オー・データ機器 代表取締役会長
佐無田 光	金沢大学 学長補佐	安江 雪菜	㈱計画情報研究所 代表取締役社長
沢野 千穂子	石川県商工会議所 女性会連合会会長	保川 高司	㈱小松製作所 執行役員生産本部粟津工場長
杉野 哲也	石川県食品協会 会長	米川 達也	(耕白山 代表取締役社長
砂塚 隆広	金沢経済同友会 代表幹事	米沢 寛	石川県中小企業団体中央会 副会長
高松 喜与志	石川県経営者協会 会長	和田 隆志	大学コンソーシアム石川 会長
田上 好道	石川県商工会連合会 会長		※敬称略·五十音順

ほか4部会

(事務局) 石川県商工労働部産業政策課

「石川県産業のデジタル化による 競争力強化研究会」〈R3設置済〉 座長:丹 康雄 (北陸先端大 副学長)

⇒検討委員会の開催に合わせて、 DXについて検討

基幹産業(機械・繊維・食品・IT)の(若手経営者等)から意見聴取

県内企業の実情把握 アンケート調査 (R4.9.9~10.3) 個別ヒアリング (随時)

その他、特に専門性の高い分野は、 専門アドバイザーから意見聴取 (20名程度・必要に応じて追加)

⇒グリーン、人材、研究開発、 スタートアップ、国内販路、 国際展開、事業承継、企業誘致

事務局案(検討委員会へのインプット)

※対象者・意見等は検討委員会に報告し、 透明性を確保